

2/19



いきいき歴史館寄席 公開稽古

松江歴史館では、松江算数活塾落語教室のこどもたちによる、稽古を兼ねた寄席を毎週水曜日に開催しています。この日は、松江城に関する小咄や練習中のネタを表情ゆたかに披露し、来場者を楽しませていました。稽古会は、だれでも無料で観覧できます。



〈松江歴史館HP〉

3/2

文化で松江を熱く



## 令和6年度 松江伝統芸能祭

2年に1度の松江伝統芸能祭をさんびる文化センタープラバホールで開催しました。市内各地で引き継がれる伝統芸能を島根町大漁節保存会などの計7団体が披露し、来場した多くの観客を魅了しました。

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。  
QRコードを読み取って、  
空メールを送ってください。



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

松江まちかど

# ダイアリー

## 市報 松江 目次

- 02 「見える通報」始まりました！  
～松江市消防本部からのお知らせ～
- 04 松江まちかどダイアリー
- 05 小泉八雲・セツのドラマをイカしてバケ  
る推進協議会オリジナルロゴ・キャッチ  
コピーができました／まいぶんTIME
- 06 食べごろ松江／シリーズ松江の匠
- 07 松江の皆さんこんにちは。／マイルポート
- 08 4月20日は松江市長選挙および松江市  
議会議員一般選挙
- 10 松江城周辺施設にお得に入館できる制度  
がスタートします／国民健康保険・後期  
高齢者医療制度加入者の所得申告
- 11 ご存じですか、松江市の町内会・自治会
- 12 子育て・健康・福祉
- 14 情報ひろば
- 21 でかけてごしない～イベント情報～
- 23 大根島ばたん祭2025／まつえナビ



# 小泉八雲・セツのドラマをイカしてバケる推進協議会

## オリジナルロゴ・キャッチコピーができました

連続テレビ小説「ばけばけ」の放送が今年秋から始まる予定です。

推進協議会では、松江市が「ばけばけ」の舞台であることを観光客に伝え、この地域の認知の向上および誘致につなげるため、オリジナルロゴマークとキャッチコピーを作成しました。

市民・事業者の皆さんが開催するイベントや開発した商品などに広くご利用いただけます。

# ば け、 そ げ、 あ げ、



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江

### ロゴマークのコンセプト

松江で出会い心の旅をともにするセツと八雲、二人の後ろ姿を描いたデザインです。深緑は松の色、黄色は明るい未来を象徴しています。

### キャッチコピーのコンセプト

「あげ、そげ、ばけ。」松江をアゲていくこと、不要なものを削いでいくことで変化をしていく、「あれも、それも、ばけるよ。」という意味を込めています。

ロゴの使用は、申請が必要です。詳しくは観光協会ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】小泉八雲・セツのドラマ応援室 ☎ 55-5384

観光協会 HP は  
こちらから→



## まいぶんTIME 市内の古墳について紹介します♪

### たまつくりつきやまこふん Vol.23 玉造築山古墳 (玉湯町)

玉造温泉街の南側、湯薬師広場から北西方面へ約200メートル進んだ路地裏に小さな墳丘があり、そのなかに不思議な形をした石が横たわっているのをご存じでしょうか。

玉湯町の遺跡といえば、出雲玉作史跡公園が特に有名ですが、ほかにも見学可能な遺跡がいくつかあります。そのうちのひとつである玉造築山古墳は舟のような形をした石棺2基が露出しており、石棺を運ぶ際に縄をひっかけて使われた縄掛突起も見ることができます。石棺の中からは中国製の鏡が発見されており、出雲地方では珍しい特徴を持つ貴重な古墳です。

【問い合わせ】埋蔵文化財調査課 ☎55-5284

玉湯川で桜を見た帰りに  
ぜひ立ち寄ってみてね♪



田和山遺跡キャラクター TAWAYAMAN



〈玉造築山古墳の石棺〉



## 食べごろ松江

くまつえ旬もの食べてござい

vol.8



### 春を告げる旬の食材 筍

タケノコ

雪が溶けて、桃の花が咲き始める頃に、「によきり！」と顔を出す筍。春の訪れを感じさせてくれる食材の1つです。掘りたての筍が、お店に並ぶのを楽しみにしている人も多いことでしょう。

市内では、「孟宗竹（モウソウチク）」という種類の筍が比較的多く見られ、この種類は他に比べて柔らかく、香りがよいとされています。3月から5月にかけて収穫されますが、3月下旬から4月上旬が特においしい頃合いです。

筍は、「土から掘りあげた瞬間から、えぐみが始める」とか「湯をわかしてから掘れ」と言われるほど、鮮度が味が変わります。鮮度の良い筍は、皮に艶がありみずみずしく、切り口が白い色をしています。お店で購入する際には参考にしてください。

掘りたての筍は、えぐみがほとんど無いと言われますが、山から掘ってきてすぐに料理するのは、なかなか難しいです。えぐみのもととなる「あく」を抜くには、米ぬかや、重曹などを使います。農家さんいわく、「椿の葉を使う方法」もある



〈筍を収穫する様子〉



〈掘りたて！出荷直前の筍〉

ようで、昔から多くの人に食されてきた筍ですから、他にも色々な抜き方法がありそうです。

また、今の季節なら、農家のみなさんがその日に掘った筍をすぐにあく抜きして、市内各所の産地直売コーナーに出荷されています。手間のかかる作業が終わっている水煮筍などを使って春を味わうのもいいですね。筍の穂先は酢の物、中のところは炊き込みご飯、根に近い部分はきんぴらなど、いろいろな料理で楽しめます。

最後に、東出雲町にある「上意東たけのこ生産組合」は、春は大忙しの季節です。毎日早朝から竹林を見て回り、少しだけ頭を出した筍やまだ土中にある筍を掘り上げます。掘り上げた筍はその日の内に、本市の姉妹都市、愛知県大口町をはじめ市内外の業者に出荷されます。水煮や奈良漬などに加工され、全国に向けて販売されています。まさに、今が旬の筍です。ぜひ、新鮮な松江産の筍を食べて春を感じてください。

【この記事に関する問い合わせ】 農政課 ☎ 55-5232

## シリーズ「松江の匠」

市は長年にわたり地域産業の発展に貢献された技能者を表彰しています。



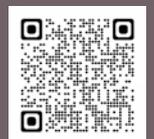
〈畳を製造する竹内さん〉

令和6年度松江市手作り産業優良技能者表彰  
たけうち 昭雄 No.1  
有限会社竹内畳店（石橋町）  
（功労賞 受賞）  
推薦団体：島根県畳組合

昭和38年、竹内畳店の2代目として畳製造を継いだ匠。60年以上の間、現役で活躍し続けています。匠が畳製造を始めた頃は、すべてが手作業であり大八車に畳を積んで運搬していました。また、仕事の依頼があると、自転車に材料や道具を積んで現場に向かい、作業を行っていました。作業の合間には、その家の方とたわいもない話を交わすこともあり、それが今では大切な思い出となっているそうです。

匠のお客様に向き合う姿勢は、その当時から現在に至るまで変わることはありません。お客様のニーズに合った製品を作ることを心掛け、先代から続く技術と伝統を守りながら、評判を聞いて注文されるお客様の期待にも応え続けています。「お客様に喜んで貰えるからこそ、長く続けて来られた」と嬉しそうに語る姿が印象的でした。

竹内畳店には、匠の他に3代目夫婦と孫2人の職人が在籍し、技を受け継いでいます。匠は長年の経験と高度な技術を生かし、次世代の職人育成にも力を注いできました。技術の継承のみならず、職人としての誇りや畳に対する愛情も、業界への貢献に表れています。匠は、「ものづくりは日本の大切な文化である。職人をめざす人々には、現在だけでなく先見の明を持って、何年か後のことを見据えながらこの文化を守ってもらいたい」と話していました。匠の思いは、次世代の職人たちへと受け継がれ、未来へと繋がっていくことでしょう。



〈松江の匠 HP〉



〈受賞者紹介動画〉

【この記事に関する問い合わせ】 ものづくり産業支援センター ☎ 60-7101

## 松江の皆さん こんにちは。



倉石 誠司  
くら いし せい じ

1976年生まれ。松江南高、早大政経学部卒。99年建設省(現国交省)入省。内閣官房などを経て、23年国交省国土政策局総合計画課長(現職)。松江市「公共交通で暮らしやすい未来を実現するプロジェクトチーム」アドバイザー委員。



私は高校卒業まで松江市で生まれ育ちました。大学は東京に進学し、霞が関の国土交通省に就職。海外留学や京都や神戸への転勤もありましたが、特に若手の頃は仕事がかかり忙しかったこともあり、郷里の松江市にゆつくりと帰ることができずに月日が経ちました。

そんな中、昨年の実母の他界や、長男の大学進学など、人生すごろくもかなりステージが変わり、地域公共交通、不動産・住宅・まちづくりなどこれまで地域づくりに関する国の政策に一貫して携わってきた経験を少しでも郷里のために生かせれば、との思いがふつふつと湧き始めました。ちょうど昨年、都会と地方を行き来しながらの暮らし方働き方を応援する「二地域居住」促進法の制定を担当し、ではこの機会にまさに夙より始めよ、自ら二地域居住をしてみようじゃないか、と決断。特に大都会の生活が長くなればなるほど、また人生すごろくがどんどんと進

「東京松江会」への入会者を募集しています。関東地方在住の人をご紹介いただける人はご連絡ください。  
〒140-0001 品川区北品川1-1-16 第2小池ビル6階 樹さんびる内 東京松江会事務局  
☎090-1188-0776 (幹事長 境 真樹) ✉tokyomatsuekai@gmail.com 東京松江会ホームページ

### まちをよくする マイルレポート

## 松江青年会議所の取り組み

公益社団法人 松江青年会議所 理事長

影山 瑛一  
かげ やま えい いち

松江青年会議所では40歳までの、松江を「明るい豊かな社会」にしたいという情熱を持った青年が集い、活動しています。2025年度は、国際文化観光都市であることを生かして国際交流やパートナーシップの創出に繋がる国際事業を行う予定です。また松江青年会議所では、毎年水辺関連の事業を行っており、今年度も「水の都」と称される豊かな水辺を活用して、SUPをはじめとする水辺のアクティビティを開催します。それら松江市の持つ潜在能力をフルに生かし、経済を活性化させ、地域の発展に寄与していきます。

そして、このまちに住む青年が郷土を愛し、未来に希望の持てるまちとなるよう、郷土愛の育成にも取り組んで参ります。4月には松江の未来を創造する市長の選挙について多くの市民に考える機会を提供していきたいと考えています。投票率の低い若者の関心を高め、若い世代から地域の事を真剣に考える人を増やしていくための事業を行います。更に毎年松江水郷祭に合わせてステージイベントや飲食ブースを展開する「松江だんだん」というイベントの開催に取り組んでいます。今年も多くの市民にとって松江の夏の思い出となるような楽しい賑わいを創出していきます。



〈野波 MIZUASOBI フェス〉



〈堀川バルーンイルミネーション〉



〈松江だんだん〉

